

4月

国家試験対策ニュースレター

受験応援号

発行：日本福祉大学社会福祉学部

ニュースレターを発行して、皆さんの受験を応援します！

発行にあたり、国試対策委員長の保正先生からのメッセージをいただきました🌸
さらに、本号では末盛先生から合格するための学習の進め方について、ヒントになる情報をたくさん紹介いただいています！ぜひご覧ください（編集担当：横山由香里）

国家試験ニュースレター発行に寄せたメッセージ

保正友子

いよいよ新年度が始まりました。皆さんたちにとっては、国家試験受験までの長い道のりのスタートラインですね。私たち教職員も、様々な方法で皆さんの受験勉強を応援していきますので、最後まで頑張ってください。

応援方法の軸となるのが、この国家試験ニュースレターの発行です。昨年度は試験的に11月から1月までの3ヶ月間、月1回ニュースレターを発行してきました。受験後にアンケートをとったところ、半数以上の受験生が3回ともニュースレターを目にしており、「先輩の合格体験記」「受験に対する注意」「先生方からの激励メッセージ」「模試や受験対策講座等の案内」等が役に立ったと答えています。また、今後増やしてほしい記事として「科目ごとのワンポイント」「頻出問題のみにレクチャー」「新しい制度や動きに関する情報提供」等と答えてくださいました。さらに、ニュースレターを見てやる気が上がったかどうかについては、約9割の人が「あがった」「ややあがった」と答えており、アンケートに答えてくれた全ての人が「後輩の役に立つと思う」と回答しました。

そのため、今年度も引き続きニュースレターを発行することにしました。昨年度は3回しか発行できませんでしたが、今年度はまずは隔月で発行し、11月からは毎月発行する予定です。アンケート結果の希望を踏まえて、国試対策ワンポイントアドバイスや先輩たちの合格体験記、先生からの激励メッセージ等、充実した紙面を考えています。また、夏休みの実践プログラムの紹介や国試に関わる後期スケジュール等も掲載しますので、特別講座でのアナウンスに加えてニュースレターで再確認していただけたら幸いです。

ぜひ、毎回の国家試験ニュースレターに目を通して、その時々々の必要事項を押さえながら、モチベーションを高めて受験勉強を続けていってください。

“ついに社会福祉士国家試験がやってくる！” 合格するための学習の進め方



4年生のみなさんへ

4年生へのご進級おめでとうございます。あと大学生活も1年ですね。悔いのないよう1日1日を大切に過ごしていきましょう。4年生は就活や卒論がありますが、忘れてはならないのは社会福祉士国家試験の受験があることです。毎年ギリギリ不合格になる学生がいます。こうした先輩は「後輩にはこうした思いは絶対にして欲しくない」と言悔しい想いをしないために社士合格に向けた学習の進め方をみていきましょう。

社会福祉士国家試験ってどんな感じ？

まず社会福祉士国家試験なるものを確認しましょう。全部で19科目あります。内容は社会保障や社会福祉の科目を軸としながらも医学、心理学、更生保護まで多岐にわたります。全部を覚えるのは難しく感じますが、1科目でも0点の科目があると不合格になります。つまり、19科目どの科目もまんべんなく学習しておく必要があります。合格に向けては、19各科目の頻出分野を中心に重点的に学習を進めることが重要になります。では、どのように重点的に学習を進めればいいのか？

出る問題はすでにわかっている？

実は各科目毎年出題される問題があります。全部とは言えませんが、各科目ある程度出る分野がわかっています。では、どうやって出題される分野がわかるのでしょうか。

出題される問題は出題基準と出題傾向を見ればわかります。下の表は「人体の構造と機能及び疾病」の出題傾向の抜粋です。これを見ると、身体の成長・発達および各器官等の構造と機能は毎年出題されています。一方、人体部位の名称は全く出題されていません。これだけみても頻出分野がどこなのかが一目でわかります（出題傾向は各社の過去問集に掲載されています。ぜひ確認してください）。

● 「人体の構造と機能及び疾病」の出題基準と出題実績

【 】内は問題番号

大項目	中項目	小項目 (例示)	第28回	第29回	第30回
1 人の成長・発達	1) 身体の成長・発達		【1】*	【1】	【1】
	2) 精神の成長・発達		【1】*		
	3) 老化			【2】	【7】*
2 心身機能と身体構造の概要	1) 人体部位の名称	・頭部、頸部、胸部、背部、腹部、四肢、体幹、脊柱、血管 ・その他			
	2) 各器官等の構造と機能	・血液、呼吸器、消化器、泌尿器、循環器、支持運動器官、内分泌器官、神経系、感覚器、皮膚、生殖器、免疫系 ・その他	【2】*	【3】	【2】

カコモンカコモンと言われるけど…

先輩も行ってきた社士合格の学習法は「過去問を解くこと」です。これは学習法として一番王道になります。ただ学習する側から見ると不安もあるかもしれません。本当に過去問だけ完璧にしていれば大丈夫なのか。本番で出題のされ方を少しずらされたりしたら答えられるのか？この不安に応え、実際に合格するために効果的な学習の進め方とは以下ようになります。

- ① 過去の出題傾向や過去問を確認して、まず各科目の頻出分野の内容を理解する。
- ② そして模擬試験や模擬問題集を活用しながら、頻出分野を少し広めに、かつしっかり目におさえる。そうすれば、本番で過去問から少しずらした出され方をされても正解することができる。

まずは前期中に 19 科目の頻出分野の内容をしっかりと理解すること（①）を目標にすると思います。そして後期に各科目の頻出分野をさらに広く深く理解していく。この流れで、合格できます！

どのように学習を始めればいいのか？

学習のためには、一定の教材が必要になります。必要な教材は以下の3点です。

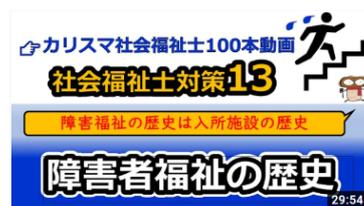
- ① **テキスト**（過去問の全ての情報を網羅してはいないが満点を目指さずに効率よく勉強したい学生は飯塚慶子著『社会福祉士の合格教科書』がおススメ。確実に合格したいし、過去問の疑問点を1冊で解決したいという学生は『社会福祉士国家試験レビューブック』がおススメ。どちらも良いテキストです。先輩たちもよく使っています。）

- ② **過去問集**（出題傾向も出ていて、解説も充実しているのので中央法規の『過去問解説集』がおススメです。）

- ③ **模擬問題集**（中央法規の『模擬問題集』がおススメです。）
加えて youtube もおススメのものがああります。コロナ禍の中、大学で講義を聞くことができない状況も考えられます。そこで先輩たちも活用し好評だったのが youtube【カリスマ社会福祉士 100 本動画】です。私も見ていますが、とてもわかりやすいです。ぜひ見てみてください！



※新年度のテキスト等は、5月上旬頃に販売予定。



みんなで笑顔になるために—これから何をすればいいの？

まずは「社会福祉特別講座Ⅱ」に必ず出席し、日替わりテスト・小テストを受けて、各科目の過去問にふれてきましょう。そして授業を受けながら各科目の頻出分野をしっかりと理解していきましょう。そして「社会福祉特別講座Ⅱ」で出される課題を1つ1つ丁寧に取り組んでいきましょう。そうした皆さんの地道な取り組みの先に「合格」が必ず待っています。みなさんが合格を手にして笑顔になれるよう、教職員一同応援していきます。

今日から試験本番まで、一緒にがんばっていきましょう！



■ 国家試験に関連する主なスケジュール ■

昨年度のスケジュールを参考に、今年度前期の予定を紹介しておきます。
(変更になる可能性もありますので、社会福祉特別講座Ⅱでのお知らせや掲示などを随時確認してください)

4月	ニューズレター 社会福祉特別講座Ⅱでの力試し（第2回実力テスト）	
5月	実践プログラムの案内・受講申し込み開始（5月下旬～6月初旬）	
6月	ニューズレター	
7月	ニューズレター 国試出願オリエンテーション 社会福祉特別講座Ⅱの期末テスト	夏休みを有意義なものにするため要チェック
8月	実践プログラムへの参加	有料ですが大変お得です！ 合格したい人はぜひ受講を！



合格を目指して、

みんなで頑張りよう！